

長谷川 えつこ



ワンゴ長谷川通信

横浜市会報告 Vol.5

令和2年が始まりました。

昨年は元号が変わり新たな時代の幕開けとなり平穏で穏やかな時代となることを大いに期待された方も多くいらっしゃったかと思います。

しかし、秋には度重なる自然災害に見舞われ、被害を受けた方、直接的な被害はなくても生活に支障が生じた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。急激な気候変動の影響を受け、今後も同様な災害が起こり得る可能性は否めません。地域の連携により最小限の被害で収まるように、日頃から気を付けていきたいと思えます。

2019年に流行語大賞となった「ワンチーム」というフレーズと共に、ラグビーワールドカップで得た感動を忘れず、2020年も幸多き一年となりますことを願っております。



横浜市役所1階玄関口にて

栄区疑問解決コーナー

栄区なぜなぜ!?

Q. 栄区に横浜市営交通がないのはなんで?

A. 【PART.1 バスについて】

市営バスは路面電車が前身です。平成18年3月までは横浜市営バスは2線乗り入れをしていましたが、中田市長時代に横浜市市営交通事業あり方検討委員会にて、路線のスリム化を掲げ、栄区に走っている2線のルートには民間のバス会社も同じルートを走っている事から、そのルートは民間のバス会社に任せ廃線にしたとのことでした。民間バス会社とのエリア分けもある様子です。

しかし、民間のバス会社が入っていないエリアもあります。その区間を走らせて欲しいという旨を伝えましたが、バスの運転手が足りずバス便の本数を増やすのが難しいと

のことでした。現行のバス運行で乗車人数が多いとなれば本数を増やしたり新規路線を検討するかもしれません。手段としては、バスの利用を増やし、バス需要を高めることが効果的かもしれません。

また、様々な業界で人材不足が深刻な問題です。賃上げだけでは給料の価格競争となり抜本的な問題解決にはならないと思います。お客様の喜びを感じられる職場環境が好ましいですね!

栄区も横浜市として市営交通の協力も必要と考えています。

大きなバスの運行でなくとも、コミュニティバスの運行等、依頼をしていきたいと思えます。



栄区交通安全対策協議会・交通事故防止キャンペーンにて